

東シナ海ブロック水産業情報

No. 130(2025年7月~9月)

増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○豊前海 【カキ養殖】 ・概ね順調に成育。 【栽培関連】 ・「かぐや装置」によるアサリ稚貝生産、「網袋」による干潟での保護・育成試験を実施中。 ・ガザミ、ヨシエビの中間育成→種苗放流を実施。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖 ・夏季の高水温(6月から10月にかけて表層水温が平年よりも高く推移)が原因と思われる成長不良が確認されている。今後は、例年どおり11月に生産状況調査を実施する予定である。</p> <p>○玄海 ・アオナマコ 345千個体、アカナマコ276千個体(10~20mm)放流済み ・アカウニ幼生飼育 1,400万個体</p>		<p>プリ:レンサ球菌症(Ⅱ型)、ペコ病、ノカルジア症 カンパチ:レンサ球菌症(Ⅲ型) ヒラメ:エドワジエラ症 シマアジ:レンサ球菌症(Ⅱ型、Ⅲ型)、マダイイリドウイルス病 トラフグ:粘液胞子虫性ヤセ病、ヘテロボツリウム症 クルマエビ:ピリオオ病</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・八代海において、8月中旬に<i>Chattonella antiqua</i> による赤潮が発生し、さらに同月下旬には<i>Karenia mikimotoi</i> による混合赤潮が発生したが、9月下旬には終息した。(漁業被害なし)</p>			